

2024 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	加藤周一現代思想研究センター
---------	----------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した全ての研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。

- 2024 年度加藤周一現代思想研究センターでは以下の通り活動を行った。
- (1) 2024 年度「手稿ノート」のデジタルアーカイブ化として以下のノートのデジタル化を行ない 2025 年 3 月下旬に公開した。
中原中也[47]/[時間と空間] (加藤の直筆メモのみ)[102] / 日本美術史[113]/ 文体論[189]/ La littérature chinoise[116]/
Oriental Arts[112]/ Mexico[113]
- (2) 書簡(往信来信)の整理およびデータベース化を完成した。その内容は以下の通り。
書簡総数 3,294 通 データベースプリントアウトで A4 版 200 頁ほど。
- (3) 他大学他機関との連携として、東京女子大学丸山眞男文庫との提携を強化し、7 月 17 日に加國、鷺巣が東京女子大学丸山眞男記念センターを訪問し、榊原哲也センター長、金子元研究員と面会し、意見交換を行うとともに、今後の提携について確認をした。またサントリー文化財団山崎正和アーカイヴとの提携についても現在準備中である。
- (4) 2024 年度にはクラウド・ファンディングとして、Readyfor をプラットフォームとして「加藤周一ワールドを探検しよう」という主題で、寄付を募った。結果は寄付人数のべ 133 人、寄付金額 2,247,000 円で、目標金額を達成することができた。
また本センターにおいて 2024 年度は科研費(挑戦的研究(萌芽))「身振り言語に見る戦後日本の知識人—加藤周一、丸山眞男、鶴見俊輔を例にして」(研究代表:鷺巣力)及び(基盤研究C)「フランス実存主義哲学の日本での受容についての基礎的研究」(研究代表:加國尚志)などの研究が行われた。三浦海運記念財団の助成による日中合同シンポジウム「雑種文化—どのように「近代」をつくったか」を開催した(2024 年 11 月 16 日、立命館大学平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム)。
- (5) 加藤周一現代思想研究センターの報告として『加藤周一研究センター報告』を編集・刊行した。総頁 268 頁 400 部であり、海老坂武氏の講演録等を収録した。また鷺巣力が『林達夫のドラマツルギー – 演技する反語的精神』(平凡社)を刊行した。その刊行に合わせて公開研究会「鷺巣力「林達夫のドラマツルギー – 演技する反語的精神」合評会を開催した(2024 年 12 月 21 日 立命館大学平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム)。
- (6) 加藤文庫公開講読会を行い、毎月一回のペースで全 12 回、『続・羊の歌』の講読を行なった。院生たちが交代で報告を行い、市民を含む毎回 50 名以上の参加があった。院生たちの教育、市民への社会連携活動として有意義な活動となった。
- 以上、研究センターの活動として、(1) 及び(2) 手稿・書簡等資料の整理・保存・公開、(3) 他大学他機関との研究連携、(4) 学外資金の獲得及び社会的発信、(5) 研究成果の公表・発信、(6) 学生への教育的な還元と一般市民への社会連携活動の実施、といった成果を残すことができた。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2025 年 3 月 31 日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割		氏名	所属	職位
センター長		加國尚志	文学部	教授
運営委員		鷲巢 力	衣笠総合研究機構	研究顧問
		小関 素明	文学部	教授
		岡本 雅史	文学部	教授
		北村 順生	映像学部	教授
		福間 良明	産業社会学部	教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)				
学内の若手研究者	専門研究員 研究員 初任研究員	半田侑子	衣笠総合研究機構	研究員
	補助研究員・リサーチアシ スタント			
	大学院生	福井優	文学研究科	博士課程後期課程
		蛭子良風	文学研究科	博士課程後期課程
		落合優翼	文学研究科	博士課程後期課程
		堀内智吉	文学研究科	博士課程後期課程
		齋藤由紀	文学研究科	博士課程前期課程
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等)				
客員協力研究員		樋口 陽一	東京大学	名誉教授
		三浦 信孝	中央大学文学部	名誉教授
		平石 知久	(公財)ひょうご震災記念 21 世 紀研究機構	研究員
		石 運	重慶大学外国語学院	講師
		孫 歌	中国社会科学院文学研究所	研究員
		岩津航	金沢大学人間社会研究域	教授
		彭 佳紅	帝塚山学院大学	名誉教授
		川口 雄一	成蹊大学法学部	非常勤講師
		翁 家慧	北京大学	副教授
		金子 元	秀明大学	非常勤講師

	李 成市	在日韓人歴史資料館	館長
	落合 勝人	株式会社集英社	新書編集部 部長 代理 兼 編集
	桜井 均	立正大学人文科学研究所、明治学院大学国際平和研究所研究員	研究員
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)			
センター構成員 計 25 名 (うち学内の若手研究者 計 6名)			

Ⅲ. 研究業績（公開項目） ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2025年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	鷺巣力	林達夫のドラマトゥルギー－演技する反語的精神	単著	2024年6月	平凡社	朱雀花子	総頁数 396 頁
2	加國尚志	木田元『メルロ＝ポンティの思想』解説	単著	2025年1月	講談社	木田元	総頁数 598 頁のうち 12 頁

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	岡本雅史	一人語りの匠さを生み出す仮想敵相互行為—教育系 YouTuber によるセリフ会話の観察	共著	2025 年	社会言語科学会第四十九回大会発表論文集 48	石田七望	PP. 287～290	有
2	鷺巣力・福井優	「思想運動」としての編集 鷺巣力オーラルヒストリー 第二回 わらしべ編集者	共著	2025 年	加藤周一現代思想研究センター報告 2		PP . 191-223	無
3	加國尚志	スティル、アンガジユマン－ブルーストを読むメルロ＝ポンティ	単著	2024 年	メルロ＝ポンティ研究 28		PP. 47-62	無
4	半田侑子	芥川文学と加藤周一の「雑種文化論」	単著	2025 年	加藤周一現代思想研究センター報告 2		PP. 79-93	無
5	半田侑子	「雑種文化」論の源流としての芥川龍之介—加藤周一が芥川から引き継いだ近代知識人の課題	単著	2025 年	立命館大学人文科学研究所紀要		PP. 49-177	有
6	鷺巣力	雑種文化の可能性：加藤周一、芥川龍之介、アナトール・フランス	単著	2025 年	加藤周一現代思想研究センター報告 2		PP. 1-43	無
7	桜井均	メディアが再生したアーカイブが、メディアを再生する	単著	2024 年	放送レーポート 312 号		PP. 32-34	無

3. 研究発表等

No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	鷺巣力	日本の雑種文化―万葉仮名からコンビニまで	2024 年 11 月	日中合同シンポジウム「雑種文化―どのように「近代」をつくったか」	周程（北京大学） 翁家慧（北京大学） 楊艦（清華大学）

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	日中合同シンポジウム「雑種文化―どのように「近代」をつくったか」	衣笠キャンパス	2024 年 11 月	30 名	公益財団法人三島海運記念財団
2	公開研究会「鷺巣力「林達夫のドラマトウルギー – 演技する反語的精神」合評会	衣笠キャンパス	2024 年 12 月	30 名	なし

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	鷺巣力	加藤周一を再読する	朝日カルチャーセンター新宿校（招待公演）	2025 年 3 月
2	鷺巣力	加藤周一はなぜ憲法を護ろうとするのか(1)&(2)	朝日カルチャーセンター新宿校（招待公演）	2025 年 3 月
3	桜井均	「映像の世紀 バタフライエフェクト」が遠望するもの	新時代アジアピースアカデミー講座	2024 年
4	桜井均	百科全書派・加藤周一の声と文書	新時代アジアピースアカデミー講座	2024 年

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1					

7. 科学研究費助成事業（科研費）						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	鷺巣力	「身振り言語に見る戦後日本の知識人―加藤周一、丸山眞男、鶴見俊輔を例にして」	挑戦的研究(萌芽)	2022 年 4 月	2025 年 3 月	代表
2	加國尚志	「フランス実存主義哲学の日本での受容についての基礎的研究」	基盤研究(C)	2023 年 4 月	2026 年 3 月	代表
3	半田侑子	書簡から読み解くマチネ・ポエティク―中村真一郎・福永武彦・加藤周一の詩と思想	基盤研究(C)	2024 年 4 月	2027 年 3 月	代表

8. 科研費を除くすべての外部資金（政府系、民間財団、民間企業との共同研究費等）						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	半田侑子	「雑種文化―どのように「近代」をつくったか」	三島海雲記念財団	2024 年 5 月	2025 年 3 月	代表
2	加國尚志	クラウド・ファンディング	READYFOR			

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
1								